



無料
ご自由にお取りください



新企画!!
ワーミングの極意を伝授!!
The Kotaro's Maxims

Keep it on the down low!!

—並木敏成が語る—
—あのルアーの真実—
HIGH CUT DR SP

O.S.Pが誇る
三人のスペシャリストが“旬”を説く!
三人の賢者はこう釣る!!
浦川正則 / 近藤健太郎 / 竹内一浩

O.S.Pクロニクル
相反する二つの要素をひとつに...
O.S.P JIG ZERO ONE



THE KOTARO'S MAXIMS

ワーミングの極意を伝授!!

O.S.Pで“DoLive”シリーズを手がける川村光太郎が、ワーミングを極めるためのアドバイスをあなたに贈る。記念すべき第一回のテーマは“ボリュームベイト”。いち早く春を感じるビッグバス狙いに欠かせない戦略だ!

春のビッグバスを獲る! ボリュームベイト

ときは2月下旬。まだ吐く息も白く、体感気温は冬のそれ。しかし真冬の様相は脱しており、陸上ではまだまだ寒さが残るものの、水中で生活するバス、中でも体力のある大型の個体は、いち早く動き出し、春を意識してシャローに上がってくる。そ

んなタイミングで狙いたいのは、やはりビッグバス。サイズの小さいバスは動けるだけの体力がなく、依然、冬眠状態だ。「こういうときこそ、ボリュームベイトが効く。O.S.Pのラインナップでいうと、ドライブシュリンプの6インチやドライブク

ローラーの6.5インチ、そしてドライブクロー5インチなど。さらに新たにラインナップに加わる、ドライブシャッド6インチもこれに当たります。こんなタイミングで動けて食べるのはデカバスしかいない。だったら、デカバスが好むボリュームベイトを入れたほうが、釣れるってことです!!」と光太郎。

ハイシーズンよりもむしろ、この時期のほうがデカイ個体を狙って獲りやすいという。その言葉通り、開始2投目で狙いのビッグバスが出た!



クローラーとはひと味違う!
ドライブスティックのネコは横移動!!

体高のあるボディにフックを横刺しすることで、そのボディ側面が水を強く掴んで押す。これが抵抗となって、横方向にスライドしながらボトムを小突いてくるのがドライブスティック6インチのネコリグだ。「ドライブクローラーなどのストレート系を用いたネコリグはやる人が多いので、ひと味違う水押しと動きで誘えるのが利点です」。



C O L U M N

エレキのスピードをもっと意識しよう

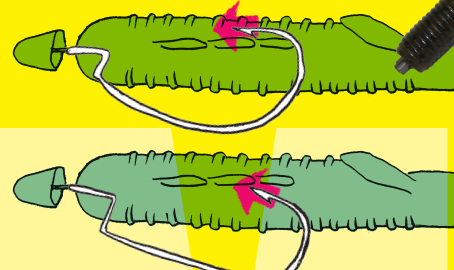
シャローカバーを釣るときに、気をつけたいのがエレキの強さ。流されてしまっては元も子もないが、流れや風の強さに応じて、進むことができる最小限のスピードに、こまめに設定しよう。また距離感も大事、と光太郎は言う。「狙ったところに入られる範囲で、できるだけ遠くからアプローチする。距離を詰めるときは極力、エレキを踏まず、ときには例えば枝を引っ張って手で進むなどの配慮が必要です」。



MAXIMS

1 シャローカバー攻略で、まず光太郎が手にしたのはドライブシュリンプ6インチ。その名が表すようにバスの好物であるエビを模したベイトで、ハードマテリアルの採用によりフックがズレにくい、カバー攻略には最適なアイテムだ。しかし6インチともなるとさすがに太さが出てくるため、ワイドゲイブかつ、ワームにセットしたときにハリ先が上方向を向くタイプのフックを選択。バスの口に分厚く掛かる、というのがその理由。これをふまえて光太郎はFPPオフセットの5/0をチョイスしている。もちろんFPPストレートでも可。

ドライブシュリンプ6インチには、FPPオフセットの5/0がマッチ。



ハリ先が上を向くFPPオフセットやFPPストレートはハリ先が出ないよう、ワーム内に埋め込んだままセットする。しっかりアワセれば、フッキングも問題なし

ドライブシュリンプ6インチ(テナガ)
フック: FPPオフセット5/0 (FINA)
シンカー: バザースワームシンカー-TGバレット7g (Daiwa)
ライン: モンスターブレイブ16lb (Daiwa)



オープンウォーターを釣るなら、スナッグレスネコリグがいい!

バスがシャローカバーに固執していないようなら、一段深いブレイクをチェック。今回のロケを行った小河川では、流れの関係で水中に枝などが溜まっているスポットがあった。そこを光太郎はスナッグレスネコリグでチェック。流れの強さに応じて、ネイルシンカーは1.3~1.8gを使い分けている。「まだ水温が低くバスの動きも鈍い春先は、リグが流されると追いかける気力がないので、できるだけそこに留められるウエイトが必要になります」。

MAXIMS



ドライブクローラー6.5インチ
(グリーンパンクキンベーパー)
フック: NSSフック3/0 (FINA)
シンカー: バザースワームシンカー-TGネイル1.8g (Daiwa)
ライン: モンスターブレイブ12lb (Daiwa)



MAXIMS



ラインスラッグを張る、緩めるの繰り返しで誘う。水中でどう動いているのか、ロッド操作とそれに伴う動きがイメージできるようにしておく

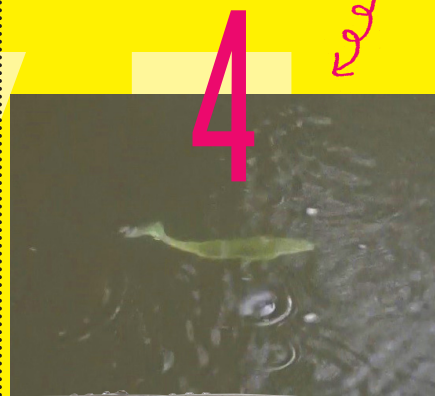
誘いの基本は「張る→緩める」この繰り返しでバイトさせる。

ワーミングでバイトを誘うとき、基本的にはラインスラッグを

「張る」と「緩める」を繰り返す。もしリアクションで口を使わせたいのなら、鋭くシャクるように。移動距離を抑えてじっくり誘いたいときは、ややラインを張る程度の弱めに。「使用前に自分の目で、ロッドをどう動かせばどう動くのかを確認しておくといいですね」。

浮いているバスの目線に合わせて、ドライブシャッドを投入。

MAXIMS



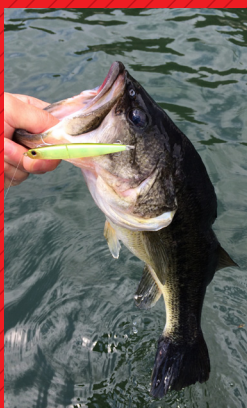
ドライブシャッド6インチ
(プロト)
フック: TNSオフセット6/0 (FINA)
ライン: モンスターブレイブ16lb (Daiwa)

O.S.Pが誇る凄腕プロスタッフが解説する
“絶対釣果”を確認するルアーの使い方。
これさえ読めば、今日からアナタもGo-Getter!!



出番となる シチュエーション

バスがシャローでエサを活発に追う時期が最も効果的。私がホームとしている山中湖では、ワカサギやオイカワなどのベイトフィッシュが浅場集まる春～初夏が、最も出番が多くなる時期です。バスはベイトフィッシュを求めて、シャローエリアをうろついていますので、そういう状況下でi-Waverが効きます。つまり、“マッチザベイト”で弱ったベイトフィッシュを演出するというわけです。



基本的な使い方

使い方の基本は「スローに真っ直ぐ引くこと、です！」余計なアクションは逆効果となり、ルアーの力で十分バスに口を使わせることができます。また、i-Waverはリアクション系のルアーと違って静かな動きのルアーですので、ポイントに余計なプレッシャーを掛けないことも重要です。できるだけポイントに対し、距離を取ってアプローチすることをおすすめします。

SSSとFを どう使い分けるのか

水面で口を使わせられるような状況では圧倒的に“F”が強い。そしてトップでのバイトはやっぱり楽しい！逆にバスの反応がシビアな時は“SSS”の出番が多くなります。例えば風で湖面が波立ち、バスの警戒心が低い場合は間違いなく“F”。風がなく、バスの警戒心が高い状態では“SSS”をセレクトします。



釣果をもうひと伸びさせる秘訣は、カラーローテーションにあります。例えば「ワカサギを食べている＝ワカサギカラー」は間違いではないと思いますが、同じエリアを同じルアーで攻める場合は、何度もキャストすればいくら釣れるルアーやカラーでもさすがに反応は悪くなりますね… 自分はクリアレイクがホームですが、意外にアピール系（チャートなど）の出番が多く、タックルボックスに常備して、使い分けていますよ！ 参考になりましたでしょうか？

もう一匹を可能にする 秘訣を伝授

昨年4月のチャプター山中湖では、i-Waverで準優勝！



PRESENT!!!!

セットで
1名様に!!

O.S.P
キャップ

O.S.P
フーデッド
ロングスリーブTシャツ

O.S.P
ネックゲイター

O.S.P
カレンダー
(非売品)

応募方法_希望者はメールにて、件名「O.S.P JOURNAL プレゼント係」とし、以下の項目にお答えください。

- 1_このパンフレットをどちらのお店で手にしましたか
- 2_このパンフレットの率直な感想
- 3_このパンフレットに求める情報
- 4_釣り歴とホームグラウンド
- 5_O.S.Pで好きなルアー

以上5点の回答に加え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、ご応募ください。
締切は2015年5月6日。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

event@o-s-p.net

個人情報について_ご提供いただきました個人情報は厳重に管理し、賞品の抽選、発送および当選者への連絡に使用します。
また、提供者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)

毎日更新! O.S.Pのすべてがわかる!!
O.S.P公式ホームページ

www.o-s-p.net

O.S.P Lurefishing Facebookページ
http://on.fb.me/1ivloty

並木敏成の知られざる素顔が明らかに…!?
並木敏成オフィシャルサイト「THIS IS T.NAMIKI」
http://t-namiki.net/

並木敏成Official Site「THIS IS T.namiki」
更新情報 Facebookページ

http://on.fb.me/1iE8UiY

KEEP IT ON THE DOWN LOW!!

これは、ここだけの秘密と、いうことで…
—並木敏成が語るあのルアーの真実— このパンフレットを手にした、あなただけが知ることができるあのルアーの真実と、本当の使い方。

Special Issue

【テーマ】

トータルバランスに優れた
暴走系シャッドが誕生



発売からすでに6年が経過したハイカット。そのポテンシャルの高さは、O.S.Pルアーをこよなく愛してくれているアングラーならすでにご承知の通り。

特徴は極めてレスポンスのいいルアーであるということ。ハニカムスーパー HP ボディ（PAT.）と固定重心によって、ボディの無駄な肉を極限までそぎ落とした。これにより、非常にタイトかつハイピッチな、びりびりとした泳ぎを実現。まるで「当たり」のバルサルアーのような動きを出すことに成功した。

では「はじめからバルサで作ればいいのでは」という意見があるかもしれない。しかし日本で最も多用されるシャッドのサイズ（ハイカットは全長60.0mm）になると、バルサで精密に作るのは至難の業。ある程度、ボディに大きさを持たせないと精巧に作るには無理が生じてしまう。その弱点をプラスチックボディで補う設計を施したのが、ハイカットなのである。

ではプラスチックに弱点がないのかというと、そうではない。バルサに比べると重く、ボディの外



ハイカットの内部構造

壁には厚みを持たせないといけない。しかしその厚みが増せば増すほど、ただ巻きでの泳ぎのレスポンスは悪くなる。これは重心より離れたところにある外壁が重くなると、それだけ泳ぎのピッチは悪くなるため、この肉厚をいかに薄くできるかという課題を克服したのが、ハニカムスーパー HP ボディ（PAT.）なのだ。

連続ダートで使用すると 確実に下方向へと潜行する

そんなハイカットだが、連続ダートで使うとバランスを崩して水平方向よりも上に飛び跳ねるシャッドが多い中、これは常に下方向へとダートする。例えばドラッキングで使うとき、つまりルアーをより深いレンジへ届けたいときに、連続ダートで深いところへ送り込むつもりが水面を割ってしまう。そんなトラブルを抱えるシャッドも少なくないが、ハイカットはハードな使用でも下へ、下へと突っ込んでくれる。レンジが深いところにいるバスにおいては、ハイカットでしか釣れない、といっても過言ではないだろう。事実、ディープクリアレイクのラ

ージマウスや、山上湖のスモールマウスのトーナメントでも、シャッドパターンの中でハイカットがウィニングルアーになる確率が高い。

ひとつ、ハイカットのウィークポイントを挙げるとするなら、それは飛距離ではないだろうか。固定重心ゆえ、飛びは一般的なシャッドのアベレージ内に収まっている。重心移動機構を採用しているモデルも含めたシャッドの平均飛距離が25～26mである中、ハイカットは23～24m。強いて弱点を挙げるとするなら、ここではないだろうか。ちなみに余談だが、ダンク48は平均29～30mと、異例の飛距離を記録している。



ハイカットDRに採用した重心移動システム

では、本題に入ろう。今回のテーマであるハイカットDRだが、これにはマグネットと2つのスチール球による重心移動システムを搭載した。なぜ、2つの球なのか。それはひとつの球にしたときよりも直径が小さくなり、キャスト時に、より細くなるボディ後方（テール部）の先端まで球を届けることができるからだ。加えて、ハイカットDRはウエイトがすべて腹側に、線で並ぶように配置されている。マグネット、スチール球、そして後方固定ウエイト。これらが飛距離はもちろん、泳ぎの安定化に役買っているのは言うまでもない。

では、どれだけの飛距離を生むのか。2つのスチール球による重心移動の飛びは同クラスのシャ



ハイカットDRの内部構造

ッドの飛距離を軽く凌ぐ、平均32mを記録。一般的なアングラーがスピニングタックル、4lbのプロロラインでキャストしても、この飛距離を出すことができる。これもハイカットDRの、大きな特徴のひとつだ。

一般的には、重心移動システムとウエイトを線上に配列したことによって、ただ巻きレスポンスは落ちる傾向

にあるのだが、ハイカットDRではボディをオリジナルよりもややファットにしたことと、リップを約2mm長くして水を大きく受けるようにしたことで、ハイカット譲りのタイトなハイピッチウォブロールアクションを実現することに成功した。

潜行深度は3.7m以上。より遠く、より深く！

もちろんリップを大きくしたことで、潜行深度はハイカットの平均2.8mを大きく上回る、3.7m以上を記録（フロロ4lbで使用時）。20m程度のキャストであればそこまでの差は生まれないものの、フルキャストをしての比較ではプラス90cm以上、ハイカットDRのほうが潜ることになる。中距離キャストで攻めることも加味すれば、ハイカットとハイカットDRでは50～90cmもの潜行深度の差があると考えられる。シャッドにおいてその差は非常に重要で、ビッグベイトであればルアーの力でバスのレンジから離れていてもサカナを寄せることができるが、小型のルアーになればなるほど、泳層をびたりと合わせなければならない。たとえ深くても、バスの層を的確に捉えられる。これは大きなアドバンテージとして働く。



バランスを崩さない泳ぎはO.S.Pクオリティ

泳ぎはハイカット譲りのタイトなハイピッチウォブロールで、なおかつボトムに触れたとき、バランスを大きく崩すことがないため、接触回数も多くできる設計になっている。止めたときに水平姿勢になるよう、テール側



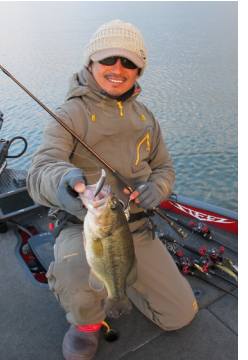
にウエイトを入れたのだが、そうすると泳ぎが悪くなったり、高速巻きではバランスを崩すこともある。しかしそこは、O.S.Pクオリティでカバー。キビキビとした泳ぎを犠牲にすることなく、止めれば水平姿勢をキープ。巻いてヨシ、止めてヨシの誘いでバスを魅了する。

またダート性能に関しても、手を抜くことなく突き詰めた。深いところで連続ダートさせられるのはもちろん、このときもハイカット譲りの上にいかず、下方向を中心にダートさせられる。スライド幅を大きくしたいときには、3トゥイッチで使ってみるといい。水の掴みが抜けたときにトゥイッチしてやると、長いダートを見せる。3回トゥイッチをすすめるのはそういった理由から。3連続してやると、イレギュラーダートしやすいことを覚えておいてほしい。

使いどころとしては、これまで届かなかった深いレンジに、細身の小型シャッドを入れたいすべての局面。加えて、シャローマッディレイクや河川においては、これまでよりもきっちりストラクチャーを叩き、クリアディープウォーターでは、より遠くから一段深いレンジのサカナに対し、ただ巻きや連続ハードジャークで誘う。スレバスに対して食わせやすい、細身ボディでありながら、ナチュラルアクションをキープ。ここまで高性能なシャッドプラグは、ハイカットDRをおいてほかにない。

スピニングとベイトの両方に対応

最後に、タックルの解説を少し。スピニング、ベイトの両方に対応するハイカットDR。このウエイトであればSS AIRやT3 AIR（Daiwa）のようなベイトフィネスタックルで快適にキャストできる（ハイカットでも然り）。ちなみにハイカットを4lbラインで使ったレンジと、ハイカットDRをベイトタックルの8lbラインで使用したとき、潜行レンジはほぼ一緒。これまでのハイカットをスピニング4lbではカバーからバスが引き離せなかったり、巻かれてしまったりして獲れない。そんなときは8lbラインでハイカットDRを用い、同じレンジを通す、という使い方ができる。ぜひ、試してみしてほしい。





浦川正則 @徳島県・旧吉野川

ハイビッチャーMAX
(インパクトライムチャート3/8oz)

ハイアピール&ナチュラルを兼備



4月の旧吉野川は多くのバスがスポーニングに入るタイミングに当たり、フィールドはたくさん釣りの人で賑わうようになってきます。もちろん私が狙うのはメスのビッグフィッシュになります、ここで期待し

ているのが2014年に発売されました“ハイビッチャーMAX (インパクトライムチャート) です。サンプルの時からすでに高いビッグフィッシュ率を誇っていましたが、基本的にタイダルリバーである旧吉は、毎日同じフィールドコンディションであることがほとんどありません。こういった状況下で、いち早くビッグフィッシュが食ってくるタイミングを狙い撃つためには、強いアピール力が要求されます。これに加えてナチュラルな泳ぎと高いスナッグレス性も併せ持っていることが、ハイビッチャーMAXの魅力だと思います。フィールドに出てまずは、しっかりと状況把握のためにサーチ！それから、その日の一番いいスポットで釣り込む!! 4月のタイダルリバー攻略には絶対に外せないルアーですね。

「今」最も効果的な釣り。

近藤健太郎 @福岡県・遠賀川

ハイクットSP
(GFスポンレッド)

50cmアップも威嚇で食わせる!



春の遠賀川攻略はハイクットSPのGFスポンレッドで決まり!! 「春バスには赤が効く!」と言うのは本当の話です。バスは赤いルアーを見ると威嚇で襲いかかってきます。この話、はじめは半信半疑でしたが、15年以上ガイドをしていると、4月の遠賀川では圧倒的に赤いルアーでの釣果がいいことが、おのずとわかってきました。中でもハイクットのGFスポンレッド… ヤバいです。昨年の春もこのカラーで50cmアップを含め大爆釣しました! 使い方は思い切り遠投して、高速で巻き巻きするだけで釣れちゃいます。エリアはトップの水深が1m前後のハンブ、リップラップ、ブレイクなど、スポーニングを意識したバスが一旦立ち止まるようなエリアで使用します。バスを見失ってしまった時などは、普段あまり釣れないような何も無いフラットエリアで投げまくったりもします。そうするとフラフラ泳いでいるデカバスが、ポロツと釣れてしまったりもする魅惑のカラーです。あまりにも釣れすぎるカラーなので使い倒して、どうしてもロストしてしまいます。結構ストックを持っても、タックルボックスの中に残らない超釣れ筋カラーです。このハイクット、もしショップで見つけたら大人買いをおすすめします。



竹内一浩 @千葉県・利根川

ブリッツ
(アメザリ)

たまにボトムに当てるのがキモ



春の利根川で私が頼りにしているのがブリッツです。多彩なラインナップを誇るブリッツシリーズですが、せっかくの春です、MAX DRやEX-DRなどで深い所にバスを迎えに行くのではなく、SRタイプでシャローに上がってくるプリスポーンの個体を狙います。狙いどころはテトラや乱杭、リップラップなどの絡んだファーストブレイク。スロー〜ミディアムリトリブでたまにボトムに当てるくらいの感覚で巻いていきます。4月の頭で利根川本流の水温は12℃前後。寒の戻りで多少水温が落ちてても深い所には戻りづらいのでポジティブにいきましょう! オススメは赤系。特にアメザリを好んで使っていますが雨などにより濁りが入った時はチャート系など色を強くしたり、ラトリンタイプを使います。



3月中

旬頃から効き

はじめるので、ぜひ! 利根川の足場は護岸で斜めになっている所が多く、タイダルリバーなので岸際が濡れていたり、コケが生えていることがあります。オカッパりのみなさんは足元に注意して、バスフィッシングを楽しんでください。

あなたなら、どうする? どうしてる?

釣りに行くための〇〇

全国のお父さんアングラ様。釣りに行きたいけど、自由に行くこと、**かないません**よね? それは**釣り業界人**とて同じ。だから釣りに行く前には必ず、**こんなこと**、しているのです……

【てるてる坊主の逆さ吊りで雨よ降れ!】

——プロスタッフ早川純一さんの場合

釣りに行くためにみなさんいろいろやっているようですが、ボクの場合の「〇〇」は、雨乞いです(笑)。

というのも、二人の息子たちが少年野球をはじめたのをきっかけに、ボクもコーチとして週末はグラウンドでロッドをバットに持ち替えて、カパーを打つかわりにノックを打ったりしています。

チームの子供たちが一生懸命ボールを追いかけて、時には試合に負けて落ち込んでしまったりと、喜怒哀楽を繰り返しながら成長していく姿を見るのはホントうれしいものです。

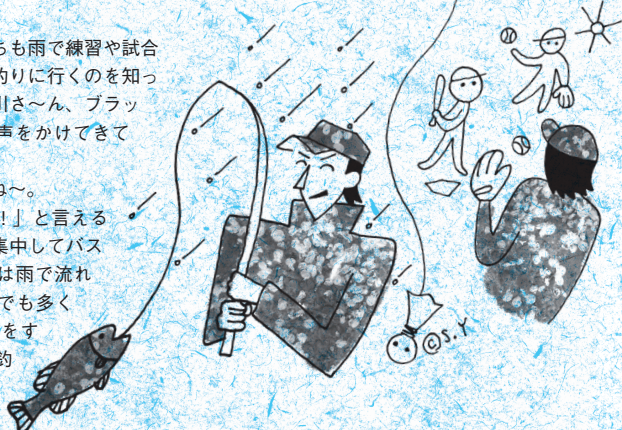
そんなわけで週末に釣りに行くためには、てるてる坊主の逆さ吊りをして雨乞いをするわけ

なんです……(笑)。

少年野球チームの子供たちも雨で練習や試合が中止になった日はボクが釣りに行くのを知っていて、次に会う時は「早川さん、ブラックバス釣れた〜?」なんて声をかけてくれます。

これもまた、嬉しいですね〜。

「でっかいの、釣ったよ〜!」と言えるように、与えられた時間は集中してバスと向き合いつつ、晴れた日は雨で流れた時間を取り戻し、ひとつでも多くチームが勝てるように練習をする! これが今のボクの「釣りに行くための〇〇」です。



O.S.P. クロニクル

開発担当者が語る、あのルアーの秘密。

第5話 O.S.P JIG ZEROONE

相反する要素の両立を可能にしたカバージグ

並木敏成を象徴するフィッシングスタイルはさまざまあるが、中でも代表的なもののひとつが、カバーフィッシングではないだろうか。事実、並木の釣りの中でもその大半を占めており、愛艇のデッキにジグのタックルが並ばないことはない。

今回ご紹介するO.S.Pジグゼロワンは、O.S.P設立から7年目の2006年9月に、14作目のルアーとしてリリースされた。並木の釣りに不可欠なジグの発売に、なぜこれほどまでの時間を要したのだろうか。「当時、ハニカムボディや基盤リップなど、O.S.P独自の機構を使ってプラグの開発を進めていました。これは並木敏成の考えでもあるのですが、開発するからには他社製品との明確な差や、物理的な根拠が伴ったモノ作りが大前提でした。素材面と機構面、そしてセッティング。この3つが揃ってはじめて、開発に着手する。しかしジグに関しては、その3つがパッと見つからなかったのがリリースまでに時間が掛かった理由だと思います」と開発担当は語る。

開発に取り掛かったのは2004年10月。ハイピッチャー 3/8ozの着地点が見え、次は何を手掛けようか、と工場の担当と相談している時に、カバージグという案が出た。コンセプトはカバーに入れても引っ掛からず、それでいて確実にバスを掛ける、というもの。カバージグに求めてしかるべき要素ではあるが、この相反する2つの事項を両立させることにに関して、正直、不安しかなかった、と担当は当時を振り返る。

各パーツにおけるO.S.P的見解を具現化

カバーに引っ掛かることなくアプローチするために、まず重要なのがブラシガードだ。ヘッドから生やす角度や、フックポイントまでの距離はもちろんのこと、ガードの横から枝などが入り込むことで引っ掛かるのを並木は特に嫌っていたため、そのストレスを解消する方法を模索。そしていきついたのが、真円状ではなくオーバル（楕

円）状でブラシガードを配置することであった。また素材に関しても、クセが付きやすいものを選ぶことで、角度や広がり具合をスポットに応じて調整できる。これでカバーをかわすガードが完成した。

ちなみにガードの本数は、各サイズによって変えている（O.S.Pジグゼロワンは5～14gまで全5サイズをラインナップ）。ウエイトが変わればカバーにコンタクトする強さが変わり、必要となるガードも変わる。そういった点を加味してのことで、リリースした当時、ここまでの配慮をしているカバージグは、他を探しても見当たらなかったという。



続いてフック。独自のオリジナルモデルを作成することも視野に入れてありとあらゆるフックを集めた中で、最も理想的だったものは並木がアメリカで購入してきたカバージグにあった。「ゼロから形を作る、オリジナルという選択肢もあるにはあったのですが、その当時の技術では、信頼を置けるものが作れなかった。ロットによって強度や形状にバラつきが生じてしまう。そうこうしているうちに、アメリカ製のカバージグの中で、ベストなフックを見つけたのです」

調べを進めると、のちにこれが国産メーカーの輸出用フックであることが判明。すぐさまこのフックを採用し、現在に至る。



「フックも、単純に太ければいい、強ければいいというものではありません。大きすぎず、デカバスがカバーの中で食っても確実に掛けられる。またフックポイントが非常に強いのも、O.S.Pジグゼロワンの特徴です。ハリ先が鈍ってしまうと、その時点で終わり。しかし耐久性を持たせることで、長く使ってもらえるジグが完成したのです」

並木敏成が得意とするスタイルの代表的なひとつが“カバーフィッシング”だ。カバーに撃ち込んでも引っ掛かることなくそれでいてフッキングはガッチリ決まる。そんな矛盾する2つの要素を兼ね備えたカバージグ誕生秘話に迫る……

横アイを採用したのにも、もちろん理由がある。一般的な縦のアイにラインを結びと、どうしてもその結び目が上下に移動してしまう。これを防ぐと同時に、角度を60°に設定したことで、カバーに軽く引っ掛けやすく、バスがバイトしたときに、口の中で横倒れしているジグをフッキングと同時に立たせ、上あごの奥を確実に捉えることも可能にした。

そしてラバーは、生命感たっぷりに動くファインラバーと、ワームとの相性抜群のカラーを備えるシリコンラバー、その両方をラインナップしている。



「やっぱり、理想としていたフックが見つかったこと、これがいいジグになった大きな理由のひとつだと思います。開発を進める中でこうしてみよう、あえてみようという発見があり、完成されるルアーが多い中、O.S.Pジグゼロワンに関しては開発に着手した時点ですでに、着地点が見えていました。こういったケースはあとにも先にも、O.S.Pジグゼロワンだけだと思う」

昨今、ベイトフィネスの台頭などによって、カバージグの出番が減っているのではないだろうか。しかし、カバージグでしか攻めることができないカバーは存在し、そこには確実にバスがいる。この一匹を獲る手段こそ、O.S.Pジグゼロワンなのだ。発売から間もなく10年。このジグもまた、クラスナンバーワンの存在であり続ける……